

## 医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院泌尿器科では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】精巣腫瘍における胎児性癌とその他の組織型における R-10G の染色性についての検討

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2023年3月31日

【研究の目的】R-10G はヒト iPS 細胞やヒト ES 細胞に発現しますが、胎児性癌細胞には発現しない抗原蛋白への特異的なモノクローナル抗体と報告されており、培養の際のヒト iPS/ES 細胞をスクリーニングする目的で利用されています。しかし病理診断を行う際に施行する免疫染色結果で、胎児性癌細胞が R-10G で染色されている事例に遭遇します。この染色態度について既知の知見との差異を検討する必要があり、今回の研究計画に至りました。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方 1986年4月1日から、2020年3月31日の間に、当院で精巣摘除術を受けられた方で、病理組織学的に精巣悪性腫瘍と診断された方。

2. 研究に用いる試料・情報

試料：手術切除標本

情報：性別、生年月日、手術年月日、組織標本の病理診断結果、組織標本の病理組織学的所見、無増悪期間、予後

3. 研究の方法

上記の試料・情報は匿名化した上で研究代表施設である福井大学医学部へ提供されます。福井大学医学部では、病理組織標本を研究材料として使用して免疫染色を用いて判定し、糖鎖発現の有無が組織型及び臨床経過と関係するのかを検討します。

【共同研究機関及び研究責任者】

1. 研究代表施設および研究統括者

福井大学医学部腫瘍病理学 教授 小林 基弘

2. 共同研究施設等およびその研究代表者

福井県済生会病院 泌尿器科 山本 秀和

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 泌尿器科 山本 秀和

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院

泌尿器科 山本 秀和

電話：0776-23-1111（代表）